

大会名：茨城遠征「SUPER COPA U-12大会」

日程：平成27年7月24日（金）～26日（日）

会場：茨城県

参加：T6クラス 12名

帯同：渡邊コーチ

予選リーグ

VS スポルトやちよ（B） 6：0 ○

VS KSC 1：4 ●

VS Wings（G） 0：3 ●

VS クレストSC 2：3 ●

VS 花園SC（W） 3：0 ○

中位トーナメント

VS ルーヴェン高崎 4：0 ○

VS スポルトやちよ（A） 1：4 ●

結果：10位（18チーム中）

茨城遠征「SUPER COPA U-12大会」に帯同しましたので、報告します。

去年は、コーチ車両2台と父兄車両1台でしたが、今回は、大型バスで会場へ向かいました。予選リーグ第1試合目が午前11時からということで、集合時間が早かったのですが、選手達は全員元気でずーーーーーとおしゃべりをしていました。そんな感じで宿舎に到着し、いざ会場へ。そしてアクシデントが起きました。運転手さんが会場を間違えるアクシデント！午前10時40分です。試合開始まで20分。道が狭いので、バスで会場を探すことはできないため、歩いて探すことに。午前10時55分いまだに見つかりません。一旦バスに戻り、大通りに出てもらいガソリンスタンドでヘルプ。ガソリンスタンドに来ているお客さん数人までも巻き込みましたが、地元の人も正確な場所がわからないとのこと。ただ、このあたりだろう的な感じでおおよその場所を教えてもらい、レッツゴー！！そして、午前11時20分会場に到着。到着できて良かった。本当にそう思いました。去年は部屋の鍵紛失騒ぎでしたが、今年は、迷子。本当に何が起きるか分からない大会だとつくづく思いました。

今大会のU12チーム watanabe を振り返ります。改めてサッカーの素晴らしさと難しさを学びました。今回選手たちにもっとも強く求めたことは、「積極的にチャレンジすること。しかし、責任は取ること。」です。関東の強豪チームと戦えるチャンスですから、恐れをなして逃げのプレーをしては、今後の成長は見込めません。もちろんチーム（組織）も考えて戦いました。

初日の予選リーグ1試合目スポルトやちよBさんとの試合は、自分たちがやりたいサッカーを個人としてもチームとしても表現していました。幸先の良いスタートを切りました。

続くフレンドリーマッチは、A. MINAMI さんでしたが、試合開始3分で雷により中止。色々なチームと試合ができると楽しみにしていたので非常に残念でした。

二日目のK S Cさんとの予選リーグ2試合目ですが、個々に気持ちが入っていたのですが、プレーが個人の中で完結してしまっていたうえに、最後は相手のフィジカルに負けてしまいました。

予選3試合目は、昨年0対9で完敗したウイングスさんです。前半の途中で一人の選手が負傷し急遽変わりの選手を投入しなんとか、0対0で前半を終えましたが、後半に失点を許し結果は0対3の敗北。

予選4試合目、クレストさん。ここで勝てれば、まだ上位トーナメント進出の可能性があるため、個々に気持ちが入っていました。また、プレーも個人の中で完結することなく、各選手が積極的にコミュニケーションをとり戦っていました。自分たちで考えプレーしている中で生まれた2つのゴール。本当に素晴らしかったです。その後も、素晴らしい動きもあり多くのチャンスをつくりましたが、最後は、各選手がやれる事をやらず、コーチに言われてから動いていたので、試合の流れを相手チームに持って行かれてしまい、まさかの2対3の逆転負け。

予選5試合目は、本来ですと初日の1試合目に行うはずだった花園さんです。予選最終戦ということもあり、ここまであまり出番が多くなかった選手に頑張ってもらうことにしました。私が何も言わなくても選手たちが勝手にその選手にボールを集めていました。個人の中で完結していたプレーが、グループ、チームとして上手く回っていた試合でした。結果的には、3対0とあまり得点はしていませんが、選手たちが自立した良い試合でした。

三日目。予選リーグを4位グループの1位で通過した。U12チーム watanabe は、中位トーナメントのシードチームとなり、2回勝てば中位トーナメント優勝（全体で9位）できる有利なポジションとなりました。

中位トーナメント準決勝は、ルーヴェン高崎さん。三日目ということと連日の熱戦により選手の疲労度もMAX。思考力ZERO。キレもスピードもない。また芝が長くてボールが転がりづらいこともあり、厳しい条件での試合でしたが、4対0で勝利しました。もちろん全選手が自分のプレーに満足していなかったです。それでも勝てるチームになったのは評価できます。

中位トーナメント決勝は、スポルトやちよAさん。中途半端なプレーから先制点を許しましたが、前線の選手がスピードに乗り相手DFを抜き去り右サイドから豪快にゴールへ叩き込み同点にしたものの、中盤でのセカンドボールを上手く拾うことができず1対4で敗北。最後まで諦めず必死にプレーしていましたが、相手の守備力に阻まれ追加点を奪うことが出来ませんでした。

特にこのU12年代は、技術や判断の質を磨くことが非常に大切ですが、まだフィジカルが未発達なため表現しきれないところが今はあります。実際の試合では、選手がピッチの状況（味方や相手の位置など）をよく見て、次のプレーを選択したり、意図的にプレー

をしようとした中でのミスや、その中での局面で相手に上回れてしまう事が多々ありますので、仕方のない部分もあります。だから、私たちコーチは、意図した中での成功か失敗か、その成功と失敗の原因は技術か判断にあったのかを見極め選手に気づかせることが大切です。潜在能力が高いのに、本当ならば土壇場で出るような力を常に出すことができない。出そうとしない。コーチに、親に、仲間に、言われたから... 怒られないため... 褒められるため...。本当の目的はなんなのか。自分で考え、メッセージを込めたプレーが出来るようになることが大切なことですね。今回参加した選手は、スキルが高い選手が多かったのですが、ハイプレッシャーの中では、本来持っているスキルの60%も出すことができなかったように思えます。当たり前のことですが、練習で出来ないことは試合では出来ない。逆を言えば、練習したことは試合で出来るということです。選手の皆さん、ハイプレッシャーの中でも自分のスキルを100%発揮するにはどうしたらいいのでしょうか？その答えを自分で探して見てください。その答えが見つかったら今回の遠征は大成功ですね。

最後に、今年もこのような素晴らし大会にお誘いいただきました“ゆうゆうツーリストさん”大会を運営していただいた“WINGSさん”“ラルクヴェール千葉さん”“花園SCさん”ありがとうございました。

また、遠方にも関わらず多くの差し入れをいただき、応援していただいたご父兄の皆さん、ありがとうございました。OGの根本ほのかさん、川口ほのかさんサポートありがとうございました。多くの方々に支えられていることを実感させていただきました。本当にありがとうございました。

～ サッカーはWatanabeを迷将にし、迷将を白髪にする ～

迷将の魔術師より

コーチ：渡邊











